

第5回Harima Blue-One(HB-1) 1型糖尿病患者友の会 会報



<実施日>

平成29年1月21日(土曜日)13時30分～16時40分

<会場>

姫路・西はりま地場産業センター 602号室

<実施内容>

- ・高砂市民病院 永田院長より講義
「これからの1型糖尿病治療」
- ・グループフリーディスカッション
- ・情報提供

<会費>

- ・参加者500円(家族は不要)
(年間500円)

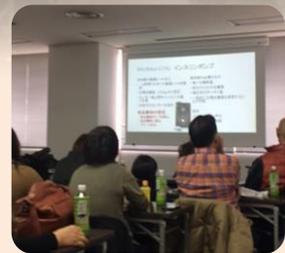


永田院長による講義

平成29年4月以降に発売予定のFGMや前回の講義で話題となった人工膵臓(FDA)の最新情報について写真を用いて分かりやすく講義して下さいました。

FGM・・・500円玉位のセンサーで2週間装着可。保険対象は1型糖尿病患者

人工膵臓・・・日本では3年後位に導入予定



グループディスカッション

- ①学校・就職
- ②恋愛・結婚・妊娠・出産
- ③男性中高年の集い
- ④女性中高年の集い
- ⑤カーボカウント
- ⑥インスリンポンプ
- ⑦家族・友人
- ⑧フリー

テーマ別に2～7人前後のグループに分かれ、自由に話し合いを行いました。参加者からは日頃の想いを共有出来たり、疑問が解決出来たなどの声を聞くことが出来ました。

グループディスカッションで出た意見

<友人・家族>

- ・低血糖の症状や対処法について。
- ・糖尿になりランチや旅行などの楽しみが減った。

<中高年の集い>

- ・低血糖時には経験上、オロナミンCがお勧め！
- ・年齢によって低血糖症状の現れ方が変わってきた。
- ・車に乗ることを辞めた人もいる。
- ・すべてに対し、一喜一憂してはダメ！

<カーボカウント>

- ・糖質・脂質・たんぱく質など食べ方の工夫も大切
- ・自動車運転時は血糖測定し飴をなめながら運転する。

<インスリンポンプ>

- ・テープかぶれが困るため、市販のもので対応している。
- ・インスリン製剤の違いとして、アピドラ・ヒューマログどちらがいいか

<フリー>

- ・出会いがない。付き合った際に糖尿病と言ったらどう思われるか・・・
- ・就職で糖尿病という受からない。
- ・眠前血糖の対処方法の工夫
- ・今後の老後の過ごし方→一型だからと言って諦めることはなく人生を楽しむこと。



第7回Harima Blue-One(HB-1)
1型糖尿病患者友の会
平成30年1月20日予定です